

——写真展——

信州の空

「SNSがひらく市民科学の新時代」

星と雲

7/18 sat

2026 9/27 sun

写真展 「信州の空 星と雲 —SNS がひらく市民科学の新時代—」

信州の空は、澄んだ星空と山岳地形が生み出す多様な雲によって、人々のまなざしを空へと向けさせ、自然現象を科学的に捉える視点を育んできました。今日、私たちはスマートフォンで空を記録し共有できるようになり、日々投稿される星や雲の写真は、天文・気象のデータとして活用される“市民科学”の新たな基盤となりつつあります。

本展では、信州の山と空の豊かな表情を発信し続ける星景写真家・大西浩次氏と山岳気象予報士・猪熊隆之氏が捉えた星と雲の写真を展示します。二人のまなざしが導く、空の魅力と科学的探究の核心に触れてみませんか。



博士(理学)。日本星景写真協会理事。国際天文学連合 (IAU) 会員。日本天文学会会員。日本天文教育普及研究会会員。「長野県は宇宙県」連絡協議会会長ほか。毎日小学生新聞にて「ガリレオ博士の天体観測図鑑」を連載中。第4回田淵行男賞入賞。個展多数。現在、「長野県は宇宙県」を合言葉に、天文文化の研究と天文学の普及活動を行っている。

初めての天体写真は小学校2年生の時に撮影した皆既月食(1972年1月30日)。意識的に星景写真に取り組んで40年となる。地球・宇宙・人のつながりを主題に、地球の空気感を大切に自然写真(Nature Photo)としての星景写真を追求している。

【関連イベント】

大西浩次 × 猪熊隆之トークイベント 「星を撮る、雲を読む —山の上で出会う信州の空—」

日時 2026年8月2日(日) 13:30～15:00
会場 茅野市八ヶ岳総合博物館
料金 通常入館料
定員 50名
申込 7月20日から受付開始
(八ヶ岳総合博物館 0266-73-0300)



全国330山の山頂の天気予報山の天気予報を運営する国内唯一の山岳気象専門会社ヤマテンの代表取締役。中央大学山岳部前監督。国立登山研修所専門調査委員及び講師。茅野市縄文ふるさと大使。カシオ「プロトレック」開発アドバイザー。登山歴はチョムカンリ(チベット)、エベレスト西稜(7,650mまで)、剣岳北方稜線冬季全山縦走など。2019年以降は、エベレスト(8,848m)、マナスル(8,163m)、チンボラソ、コトバクシ(エクアドル)、マッターホルン、キリマンジャロなど予報依頼の多い山に登頂し、山岳気象の理解を深める。

山の天気入門、山岳気象大全、山の天気になまされるな(以上、山と溪谷社)、山岳気象予報士で恩返し(三五館)、天気のことわざは本当に当たるのか考えてみた(ベレ出版)など著書多数。「空の百名山」プロジェクトでは、インターネットやSNSを通じた情報発信にも積極的に取り組んでいる。また、観天望気の講座やツアー、山小屋や山頂で行う「山の空ライブ授業」などを通じて、空や雲を観察する楽しさや、空を見ることで予測できる気象リスクを伝えるなど、幅広い活動を展開している。



茅野市八ヶ岳総合博物館

〒391-0213 長野県茅野市豊平 6983
TEL 0266-73-0300

<https://www.city.chino.lg.jp/site/y-hakubutsukan/>

入館料 | 大人 400 円、高校・大学生 300 円、小中学生 200 円

開館時間 | 9:00 ~ 16:30 (見学は 17:00 まで)

会期中の休館日 | 7/21,27、8/3,10,12,17,24,31、9/7,14,24

市民科学
プロジェクト

